

【学校教育目標】心豊かで、自ら学ぶ小江原っ子の育成 ～自律し、尊重し合う子どもの育成～



小江原っ子

長崎市立小江原小学校
学校だより 第 8 号
令和 8 年 1 0 月 6 日
校長 米 村 郁 子

自律と尊重の心を育む教育活動

本校は学校教育目標の達成に向けて令和 4 年度より「自律し、尊重し合う子どもの育成」という副題を掲げています。子どもたちがこの目標を自覚できるように、私は「自律とは、自分で正しく判断すること。自分で自分を注意すること。」「尊重とは、ひと自分も大切にすること。」と説明しています。子どもは学校生活において成功体験ばかりを積んでいるわけではありません。大人の私たちがさえ失敗することはありますから、子どもたちはたくさん失敗をして当然です。やるべきことを忘れたり、きまりを破ったり、友達とトラブルになったり…。大切なのは、失敗を反省し、次に生かすことです。私たち大人は、子どもが自らの行動を振り返り、何がダメだったのか、次はどう行動すればよいのか、反省できるように促すことが肝要であると考えます。2 学期は各学年大きな行事があり、自律と尊重の心が大きく成長するチャンスです。失敗しながらも成長できるよう指導しています。

5年宿泊体験学習を終えて

5 年生は、9 月 3 0 日から 2 泊 3 日で、日吉自然の家に出掛けました。宿泊体験学習ではすり身づくりや焼きそばづくり、スコアオリエンテーリングやイニシアティブゲームなどの体験活動とともに、食事の配膳や清掃も行います。楽しい思い出をつくるだけでなく、協力することの大切さや我慢することの難しさを学びます。5 年生にとって、これまでに育んだ自律と尊重の心が試される場であったと思います。到着式では、3 日間の活動に達成感を味わい、少し成長した表情が見られたことを嬉しく思いました。



6年小学校体育大会に向けて

小体会会の目的のひとつに、「自分自身やチームの課題を見付け、自己調整を図ったり、仲間と協働したりしながら、その解決に向けて粘り強く取り組む精神を養う。」というものがあります。これまでの小体会会種目は教師が指導する場面が多かったのですが、新種目は子ども同士が課題を共有し、解決に向けて協働し高め合うことをねらいとしています。これは、本校が目指す自律と尊重の姿と一致します。頼もしいリーダー 6 年生は今、小体会会の練習をとおして、心と体を鍛えています。本校 6 年生は、球入れ、プレルボール、フラッグフットボールに出場します。

小体会会の目的のひとつに、「自分自身やチームの課題を見付け、自己調整を図ったり、仲間と協働したりしながら、その解決に向けて粘り強く取り組む精神を養う。」というものがあります。

4年小学校音楽会に向けて

4 年生は、1 1 月に開催される小音会に向けて合奏の練習に励んでいます。まだ、自分のパートの演奏に慣れる段階ですが、上手に演奏しようと休み時間にも熱心に練習する様子が見られます。合奏は、お互いの音を聞き合い、大きさや速さを調和させなければいい演奏にはなりません。自分の任されたパートを確実に演奏する、そして心を合わせて合奏をつくり上げる、これも自律と尊重です。本校 4 年生は、小音会 1 日目、1 1 月 1 0 日（火）午後の部に出場します。演目は、SEKAI NO OWARI「RPG」です。

4 年生は、1 1 月に開催される小音会に向けて合奏の練習に励んでいます。まだ、自分のパートの演奏に慣れる段階で